

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
国際音楽エンタテイメント専門学校	平成6年12月8日	齊藤 秀志	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通7番町935番NSG-スクエア2F (電話) 025-225-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 国際総合学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東掘通1番町494-3 (電話) 025-210-8565		
目 的	音楽放送ビジネス科の学科目的：優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、芸術分野に携わる人材としての専門技能及び實際生活に必要な能力を養成すると共に文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材を育成することを目的としている。当学科では、現場との繋がりを最大限重視して音楽・放送分野の専門教育を施しつつ、専門性の高い人材を音楽・放送業界へ輩出する				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養専門	音楽・放送 ビジネス科	2年(昼)	1815単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学 省告示第三十号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	443単位時間 (又は単位)	392単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	980単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	35人	5人	9人	14人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 各科目ごと4段階評価(A～D)		
長期休み	■夏 季：7月22日～8月18日 ■冬 季：12月17日～1月8日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	定められた単位時間を終了し、かつ 全ての成績でC以上であること。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出	課外活動	■課外活動の種類 ウインドアンサンブルでの活動 ■サークル活動 (有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 イベント企画会社、放送業界 ■就職率 100%	主な資格・検定	Illustratorクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験 Webクリエイター能力認定試験		
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 5.2% 平成23年4月1日在学者 172名 (平成23年4月入学者を含む) 平成24年3月31日在学者 163名 (平成24年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更・精神的疾患のため ■中退防止のための取組 教務部と保護者との情報共有・カウンセラーの活用				
ホームページ	URL: <a href="http://show-net.jp/musicbb.html">http://show-net.jp/musicbb.html</a>				

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

音楽・放送関連法人との連携に基づいてインターンシップ実習を実現される。また、音楽イベントや放送の現場にも実習生として入り込むことで音楽および放送業界での企画・制作・運営のかかわりを肌で感じ、将来的に音楽・放送業界において活躍できる人材育成を行う。常に現場との距離を短く保つことにより、より実践的な教育環境を実現する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 12 月 17 日現在

名 前	所 属
井上 一郎	株式会社エヌトライブ
小柳 実	新潟アナウンススクール
小林 伸嘉	nobuyosicom
斉藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校

(開催日時)

第 1 回 平成 25 年 12 月 17 日 15:00~16:00

第 2 回 平成 26 年 2 月 4 日 15:00~16:00 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ① 企業連携に基づく実習授業を通して学校とは異なる職業現場での経験を培う(職業実践の経験の獲得)。
- ② 当校にて学んだ知識・技術を実践現場への応用を図ることで新たな知識・技術の習得を図る(習得知識・技術の定着ならびに応用)。
- ③ 企業連携を通じて、社会人として必要な意識の醸成を図る(社会人への導入教育)。
- ④ 業界または各企業の人材採用における人材要素の確認(人材要素に関する情報収集)。
- ⑤ 採用を視野にいれた実習運営(企業との良好な関係性の構築)。
- ⑥ 実習時間内における安全性の確保。

以上 6 点を基本方針として、実習授業の運営の協力を依頼している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
プロダクションゼミ I & II	関連企業による専門分野に特化した講演・講義を実施。音楽・放送分野に関する基礎的な知識や技術の習得とともに、同分野への興味関心をより高める。	株式会社エヌトライブ 新潟アナウンススクール 株式会社ゴールデンピッグス nobuyosicom 新潟市北区文化会館 株式会社エフエム新潟 株式会社新潟テレビ 21
ライブ演習 I & II	音響・照明科と連携してのライブ演奏実習。音楽ビジネスではイベントのプランニングから当日の運営まで。放送ビジネスではイベントの宣伝に関する番組制作や当日の司会進行等を務める。実際のライブハウスを使用しての実習を通し、より現場に近い実戦経験を積む。	株式会社エヌトライブ 新潟アナウンススクール 株式会社ゴールデンピッグス nobuyosicom 新潟市北区文化会館 株式会社エフエム新潟 株式会社新潟テレビ 21

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

担当教員において下記の分野における専門性の維持と向上を図る。

- ① 音楽・放送・ITにおける専門分野
- ② 就職における人材育成分野(コミュニケーション能力、リーダーシップ、コーチングなど)などの研修への参加。

また、上記①②を効果的に学生に伝達するため、教育力の向上を図る目的で定期的に下記にあげるような教務力向上研修を実践している。

- I. 新任者を対象とした教育力研修およびフォローアップ研修
- II. 模擬授業の実施または授業見学および意見交換
- III. 定期的な授業アンケートの実施と検討会

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 11 月 28 日現在

名 前	所 属
齊藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校 事務局
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
荻原 政之	フリーランス 音響
松本 和良	株式会社 柳都アーティストファーム
佐藤 和音	卒業生
延澤 汐美	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

保護者宛てに郵送している「学校通信」、ホームページにて URL : <http://show-net.jp/information.html>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校案内パンフレット、保護者向けパンフレット、ホームページにて URL: <http://show-net.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 音楽・放送ビジネス科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			英会話	ネイティブな講師との会話を通して、英語を基本としたコミュニケーションを学ぶ。英単語や英文法の暗記ではなく、「会話」に特化した授業を行っていく。	1 通	22		○		
○			PC 実習 (Word)	Word 文書処理技能認定試験 3 級合格を目指すとともに、基本的なビジネス文書の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす。	1 通	18		○		
○			PC 実習 (Excel)	Excel 表計算処理技能認定試験 3 級合格を目指すとともに、基本的なビジネス資料の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす。	1 通	18		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスマナー検定 3 級合格を目指すとともに、授業を通して、社会人としてのビジネスマナー、敬語、作法等を学ぶ。	1 前	7		○		
○			情報リテラシー	SNS やブログ等の Web コンテンツによる情報ツールのモラルや優位性を学習する。	1 前	9		○		
○			プレゼンテーション技法	PowerPoint を使用したビジネスプレゼンテーションの実践的トレーニングを行う。	2 前	9			○	
○			就職実務 I	社会において仕事をする考え方から、履歴書作成および面接トレーニング。	1 通	37		○		
○			就職実務 II	過去の実績を基にした実践的面接トレーニング及び、企業研究。	2 前	24		○		
○			ビジネス著作権	音楽著作権を主とした知識習得およびビジネス著作権初級合格	1 通	22		○		
○			ライブ演習 I	ライブハウスを使用しての音楽演奏ライブの演習。及びライブプランニング、企画宣伝、当日の運営までを実践的に学ぶ。	1 通	66			○	

○		ライブ演習Ⅱ	実際のライブでのイベントプランニングや企画宣伝・運営など。	2通	66			○	
○		広告プランニングⅠ	Illustrator、Photoshopなどの基本的操作を通し、イベント宣伝用の広告の作成を学ぶ。	1通	22			○	
○		広告プランニングⅡ	実際のイベントでの広告等を、Illustrator、Photoshopなどの知識を応用し制作。	2通	22			○	
○		企画プレゼンテーションⅠ	音楽系イベントの企画からプレゼンテーションのシミュレーションを繰り返し行う。	1通	44			○	
○		企画プレゼンテーションⅡ	実際の音楽系イベントを企画からプレゼンテーションまで行い、実現させる。	2通	44			○	
○		WEB基礎Ⅰ	iPadなどを使用したWebコンテンツの基本的知識習得	1通	22			○	
○		WEB基礎Ⅱ	Webクリエイター能力検定の合格を目指した、実践的なホームページ制作実習。	2通	22				○
○		ライブ企画実習Ⅰ	音響・照明・レコーディングの基本的実習音の仕組みや機材のノウハウ等を基礎から学ぶ。	1通	210				○
○		ライブ企画実習Ⅱ	音響・照明・レコーディングの専門的実習実際のライブ会場でのオペレートなどを学ぶ。	2通	560				○
○		イベント基礎	イベント全般および放送番組制作にあたっての基本的知識を学ぶ。	1通	44			○	
○		イベント実習	幾つかのイベント（放送番組）を実習として企画制作運営を行うことで、そのノウハウを学習する	2通	44				○
○		DTP実習	パソコンを駆使したポスターやフライヤーなどのアーティストのプロモーションツールの作成を学ぶ	1通	44				○
○		プロダクションゼミⅠ	関連企業による専門分野に特化した講演・講義を実施。音楽・放送分野に関する基礎的な知識や技術の習得とともに、同分野への興味関心をより高める。	1通	66			○	

○		プロダクションゼミⅡ	関連企業による専門分野に特化した講演・講義を実施。企業との繋がりを得ることで、その後のインターンシップや就職斡旋等につなげていく。	2通	66			○	
○		ラジオ番組制作	ラジオ番組制作を通じて放送全般の制作基礎を学習	1通	22			○	
○		映像制作	ファイナルカットプロを使用した、映像の撮影、編集、MAの基礎的学習	1通	22			○	
○		照明基礎Ⅰ	様々なロケーションでの映像撮影における照明効果等の基本的実習	1通	22			○	
○		照明基礎Ⅱ	映像撮影だけでなく、ライブハウスやホールでの照明など、基礎から応用までを学ぶ、	2通	22				○
○		PA基礎Ⅰ	ライブや映像の撮影時の「音」に関する基礎的な知識・技術を学ぶ。	1通	22				○
○		PA基礎Ⅱ	音響全般に関する基礎的知識・技術を、実際のライブハウスを使用して習得する。	2通	22			○	
○		進級制作発表ゼミ	進級における音楽イベントの発表会発表会の企画制作、映像制作、当日の運営、撮影、司会進行等を行う。	1後	9			○	
○		卒業制作発表ゼミ	卒業における音楽イベントの発表会発表会の企画制作、映像制作、当日の運営、撮影、司会進行等を行う。	2後	22			○	
○		レコーディング検定対策・音楽ゼミ	音楽やサウンドの基本的知識およびサウンドレコーディング検定対策授業	2通	22			○	
○		イラストレーター基礎	イラストレーターソフトを使用するの舞台図やアーティストプロフィール等の作成基礎	2通	66			○	
	○	一般選択科目Ⅰ・Ⅱ	音楽関係全般の選択授業	1通	28				○
	○	一般選択科目Ⅰ・Ⅱ	音楽関係全般の選択授業	2通	28				○
合計				36科目		単位時間 (		1815単位)	

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
国際音楽エンタテイメント専門学校	平成6年12月8日	斉藤 秀志	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通7番町935番 NSG-スクエア2F (電話)025-225-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 国際総合学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東掘通1番町494-3 (電話)025-210-8565		
目 的	音響・照明科の学科目的：優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、芸術分野に携わる人材としての専門技能及び実際生活に必要な能力を養成すると共に文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材を育成することを目的としている。当学科では、現場との繋がりを最大限重視して音響・照明分野の専門教育を施しつつ、専門性の高い人材を音響・照明業界に輩出することを旨とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養専門	音響・照明科	2年(昼)	1815単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学省告示第三十号	なし
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	377単位時間 (又は単位)	392単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	1046単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	44人	4人	8人	12人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 各科目ごと4段階評価(A～D)	
長期休み	■夏 季：7月22日～8月18日 ■冬 季：12月17日～1月8日 ■学 年 末：3月20日～4月7日		卒業・進級条件	定められた単位時間を終了し、かつ全ての成績でC以上であること	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出		課外活動	■課外活動の種類 ウインドアンサンブルでの活動 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 音響会社、照明会社、録音スタジオ ■就職率 100%		主な資格・検定	舞台・テレビジョン照明技術者2級 サウンドレコーディング技術認定試験 Pro Tools技術認定試験	
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 5.2% 平成23年4月1日在学者172名 (平成23年4月入学者を含む) 平成24年3月31日在学者163名 (平成24年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、精神的な疾患 ■中退防止のための取組 教務部と保護者との情報共有、カウンセラーの活用。				
ホームページ	URL: <a href="http://show-net.jp/sound.html">http://show-net.jp/sound.html</a>				

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

音響・照明・レコーディング関連法人との連携に基づいてインターンシップ実習を実現される。  
また、芸能音楽やコンサートの現場にも実習生として入り込むことで舞台制作のかかわりを肌で感じ、将来的に音響・照明業界において活躍できる人材育成を行う。常に現場との距離を短く保つことにより、より実践的な教育環境を実現する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
菅原 良広	新潟照明技研株式会社
柄澤 祐司	株式会社サウンドエイト
斉藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校

(開催日時)

第1回 平成25年11月27日 15:00~16:00

第2回 平成26年2月4日 15:00~16:00 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ① 企業連携に基づく実習授業を通して学校とは異なる職業現場での経験を培う(職業実践の経験の獲得)。
- ② 登校にて学んだ知識・技術を実践現場への応用を図ることで新たな知識・技術の習得を図る(習得知識・技術の定着ならびに応用)。
- ③ 企業連携を通じて、社会人として必要な意識の醸成を図る(社会人への導入教育)。
- ④ 業界又は各企業の人材採用における人材要素の確認(人材要素に関する情報収集)。
- ⑤ 採用を視野に入れた実習運営(企業との良好な関係性の構築)
- ⑥ 実習時間内における安全性の確保。

以上、6点を基本方式として、実習授業の運営の協力を依頼している。

科目名	科目概要	連携企業等
プロダクションゼミ I & II	フェスティバルやコンサートホールでのイベント運営における知識、技術を習得する。また、夏季インターンシップにおいて企業などとの連携を行い、音楽業界の現場での実習を取り入れる事で、卒業後の進路へ繋げる。	新潟照明技研株式会社 株式会社サウンドエイト 株式会社ゴールデンピッグス nobuyosicom 新潟市北区文化会館 株式会社エフエム新潟 株式会社新潟テレビ21
ライブ演習 I & II	ライブハウスや音楽コンサートでのスタッフの仕事について学び、音響・照明などに関する知識、技術の習得を目的とする。またそれを用いて実際のライブを想定して行う。本校内のライブハウスを基本とし、外部のライブハウス・会館等も使いながら実習を行う。	新潟照明技研株式会社 株式会社サウンドエイト 株式会社ゴールデンピッグス nobuyosicom 新潟市北区文化会館 株式会社エフエム新潟 株式会社新潟テレビ21



### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

担当教員において下記の分野における専門性の維持と向上を図る。

- ① 音響・照明・レコーディング・ITにおける専門分野
- ② 就職における人材育成分野(コミュニケーション能力、リーダーシップ、コーチングなど)などの研修への参加。

また上記①②を効果的に学生に伝達するため、教育力の向上を図る目的で定期的により下記にあげるような教務力向上研修を実践している。

- I. 新任者を対象とした教育力研修およびフォローアップ研修
- II. 模擬授業の実施または授業見学および意見交換
- III. 定期的な授業アンケートの実施と検討会

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 11 月 29 日現在

名 前	所 属
齊藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校 事務局
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
荻原 政之	フリーランス 音響
松本 和良	株式会社 柳都アーティストファーム
佐藤 和音	卒業生
延澤 汐美	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

保護者宛てに郵送している「学校通信」、ホームページにて URL: <http://show-net.jp/information.html>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校案内パンフレット、保護者向けパンフレット、ホームページにて URL: <http://show-net.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 音響・照明科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			英会話	ネイティブな講師との会話を通して、英語を基本としたコミュニケーションを学ぶ。英単語や英文法の暗記ではなく、「会話」に特化した授業を行っていく。	1通	22		○		
○			PC 実習 (Word)	Word 文書処理技能認定試験 3 級合格を目指すとともに、基本的なビジネス文書の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす。	1通	18		○		
○			PC 実習 (Excel)	Excel 表計算処理技能認定試験 3 級合格を目指すとともに、基本的なビジネス資料の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす。	1通	18		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスマナー検定 3 級合格を目指すとともに、授業を通して、社会人としてのビジネスマナー、敬語、作法等を学ぶ。	1前	7		○		
○			情報リテラシー	SNS やブログ等の Web コンテンツによる情報ツールのモラルや優位性を学習する。	1前	9		○		
○			プレゼンテーション技法	PowerPoint を使用したビジネスプレゼンテーションの実践的トレーニングを行う。	2前	9			○	
○			就職実務 I	社会において仕事をする考え方から、履歴書作成および面接トレーニング。	1通	37		○		
○			就職実務 II	過去の実績を基にした実践的面接トレーニング及び、企業研究。	2前	24		○		
○			ビジネス著作権	音楽著作権を主とした知識習得およびビジネス著作権初級合格	1通	22		○		
○			ライブ演習 I	ライブハウスを使用しての音楽演奏ライブの演習。及びライブプランニング、企画宣伝、当日の運営までを実践的に学ぶ。	1通	66			○	

○			ライブ演習Ⅱ	実際のライブでのイベントプランニングや企画宣伝・運営など。	2通	66			○	
○			広告プランニングⅠ	Illustrator、Photoshopなどの基本的操作を通し、イベント宣伝用の広告の作成を学ぶ。	1通	22			○	
○			広告プランニングⅡ	実際のイベントでの広告等を、Illustrator、Photoshopなどの知識を応用し制作。	2通	22			○	
○			企画プレゼンテーションⅠ	音楽系イベントの企画からプレゼンテーションのシミュレーションを繰り返し行う。	1通	44			○	
○			企画プレゼンテーションⅡ	実際の音楽系イベントを企画からプレゼンテーションまで行い、実現させる。	2通	44			○	
○			WEB基礎Ⅰ	iPadなどを使用したWebコンテンツの基本的知識習得	1通	22			○	
○			WEB基礎Ⅱ	Webクリエイター能力検定の合格を目指した、実践的なホームページ制作実習。	2通	22				○
○			PA・音響・レコーディング制作実習Ⅰ・Ⅱ	音響・照明・レコーディングの基本的実習音の仕組みや機材のノウハウ等を基礎から学ぶ。	1通	210				○
○			PA・音響・レコーディング制作実習Ⅰ・Ⅱ	音響・照明・レコーディングの専門的実習実際のライブ会場でのオペレートなどを学ぶ。	2通	560				○
○			Pro Tools	デジタルレコーディングソフトを使って「音」を操作。基本的操作技術を学ぶ。	1通	44				○
○			Pro Tools	デジタルレコーディングの実践的実習。音素材を活用し、音や曲編集を行う。	2通	44				○
○			DTP実習	パソコンを駆使したポスターやフライヤーなどのアーティストのプロモーションツールの作成を学ぶ	1通	44				○
○			プロダクションゼミⅠ	関連企業による専門分野に特化した講演・講義を実施。音楽・放送分野に関する基礎的な知識や技術の習得とともに、同分野への興味関心をより高める。	1通	66			○	

○		プロダクションゼミⅡ	関連企業による専門分野に特化した講演・講義を実施。企業との繋がりを得ることで、その後のインターンシップや就職斡旋等につなげていく。	2通	66			○	
○		楽器基礎	楽器の音を操るために楽器の特性や音の特徴を学ぶ。仕組みだけでなく演奏も行う。	1通	22			○	
○		DTM 基礎	音楽理論での知識を使いながら PC を使った作曲をする。	1通	22			○	
○		PA・照明基礎Ⅰ	専門知識だけでなく、スタッフとしての視野を広げるためにお互いの仕事を把握するために学びます。	1通	22				○
○		PA・照明舞台プランニング	舞台制作にあたってのプランニングします。どんな機材を使い、仕込みや資料作りなど学びます。	1通	22			○	
○		放送技術・照明基礎Ⅰ	舞台ではなく、放送番組としての照明の作り方の基礎を学びます。	1通	22				○
○		メンテナンス技術・照明演習	機材修理のノウハウやカラーフィルタのチェック、メンテナンスを学びます。	2通	22				○
○		進級制作発表ゼミ	進級における音楽イベントの発表会発表会の企画制作、映像制作、当日の運営、撮影、司会進行等を行う。	1後	9			○	
○		卒業制作発表ゼミ	卒業における音楽イベントの発表会発表会の企画制作、映像制作、当日の運営、撮影、司会進行等を行う。	2後	22			○	
○		レコーディング検定対策・音楽ゼミ	音楽やサウンドの基本的知識およびサウンドレコーディング検定対策授業を行います。	2通	22			○	
○		イラストレーター基礎	イラストレーターソフトを使用したの舞台図やアーティストプロフィール等の作成するためのスキルを学びます。	2通	66			○	
	○	一般選択科目Ⅰ・Ⅱ	音楽関係全般の選択授業	1通	28				○
	○	一般選択科目Ⅰ・Ⅱ	音楽関係全般の選択授業	2通	28				○
合計				36科目	1815単位時間 ( 単位)				